



最新マンスリーecoニュース&トピックス

・最近のニュース

中国むさぼる...日本のペットボトルのリサイクル高騰、壊滅の恐れ

2010.5.19/産経新聞

使用済みペットボトルを買い取るため、リサイクル業者が参加した平成22年度の入札で、1トン当たりの平均落札単価(加重平均)が前年度から5倍も上昇する2万1973円になったことが18日、日本容器包装リサイクル協会の調べで分かった。落札単価は近年、乱高下しており、業者からは「安定経営は不可能だ」と悲鳴に似た声も。中国がペットボトルの輸入を「完全解禁」という動きもあり、業者は瀕死に窮している。使用済みペットボトルのリサイクルは、平成9年の容器包装リサイクル法(容リ法)の施行とともにスタート。市町村が回収したペットボトルを、協会が一手に引き取り、容リ法で指定された業者が入札して仕入れる仕組みだ。最近、業界が注目しているのは、中国の不穏な動きだ。中国はこれまで、ペットボトルを洗浄して破碎するという工程を経た「ペレット」状でなければ輸入できなかったが、加工を得なくても輸入できるように制度改正に動いているという。これにより、さらに海外へ直接ペットボトルが流れ、容リ法の指定業者にペットボトルが集まらなくなることが懸念されている。

環境法改正情報

■神奈川県地球温暖化対策推進条例が一部改正

2009.04.13

神奈川県では、平成21年7月に「神奈川県地球温暖化対策推進条例」(以下「条例」という)を制定した。指針では、エネルギー起源CO2の排出量を算定するため、排出量を算定することとしている。大規模事業者は、事業活動温暖化対策計画書制度が適用され、計画書の提出が義務付けられている。計画書を提出して優れた地球温暖化対策を行うとする中小規模事業者にとっては、任意に計画書を提出することができ、設備導入経費のための資金の融資が受けられるなどの支援制度の適用を受けることができる。この指針は、昨年9月29日に公布し、本年4月1日に施行した。

【事業活動温暖化対策計画書制度】

工場や事務所などの事業場を持つ大規模事業者に対し、温室効果ガスの削減に向けたより積極的な取組を促し、産業部門・業務部門からの排出削減を図るため、一定規模以上の大規模事業者を対象に、事業活動に伴う温室効果ガスの自主的な削減目標や削減対策等を記載した計画書の県への提出を義務づけ、それを県が公表する制度。

Ecobiz/ecolife エコビズ/エコライフ いまさら聞けない「家電・住宅エコポイント制度」 Series.2



平成21年5月からスタートした「家電エコポイント制度」。環境性能に優れたエアコンや冷蔵庫、テレビを買くと、商品券や商品などに交換できる「エコポイント」がもらえる、エコで得する制度。平成22年3月末で終了する予定だったが、平成22年12月末日まで延長されることとなった。平成22年4月1日以降も、引き続き、エアコン、冷蔵庫、地上デジタル放送対応テレビの統一省エネラベル4つ星相当以上の製品が対象となる。

ただし、地上デジタル放送対応テレビについては、平成22年4月1日から省エネ基準が改定され、従来より省エネ性能が高い製品に4つ星、5つ星の表示がつけられることになる。その結果、平成22年3月31日までは4つ星だった製品でも、平成22年4月1日以降の省エネ基準では3つ星以下となり、家電エコポイント制度の対象外になる製品がある。4月以降に対象製品を選ぶ際には、「2010 家電 エコポイント対象製品」と書いてあるラベルを参考。また、家電エコポイントの申請書が簡素化される。これまでは、申請書に製品の型番や製造番号などを記入しなければならなかったが、4月1日以降はこれらの記入が不要となり、領収書の原本やメーカー保証書のコピーなどを張り付ける欄も分かりやすくなる。この新しい申請書は、販売店などで配布され、平成22年3月31日までに対象商品を購入した人も、新しい申請書を使って申請することができる。

<店頭で購入時に交換できる商品>

- ・地デジアンテナ工事 (地上デジタル放送対応テレビ 購入の場合のみ)
- ・電球形LEDランプ
- ・電球形蛍光ランプ
- ・充電式ニッケル水素電池

その他、交換商品については、公式サイト参照  
<http://eco-points.jp/use/index.html>

営業に役立つ 環境用語と豆知識 【統一省エネラベル】

エアコン、冷蔵庫、テレビなど個々の製品について省エネ基準に対する達成率を星の数で表示したラベル。また、省エネマークと省エネ基準達成率、通年省エネ消費効率、その製品を1年間使ったときの電気料金の目安などが併せて表示される。



走れ! エコエイトマン 京浜島マテリアルセンター

今回はKMCの主要機械をご紹介します。 ※罰則と判例はvol.11までお休みします。



分別機

飲料メーカー、ベンダー企業、自販機から回収された飲料系容器類には多くの不適物が混在。自動破袋機から選別ライン上で不適物を除去、自動選別機によるスチール・アルミ缶・ペットボトルに各自動選別され圧縮します。